



17 実語教童子教



17 実語教童子教

「江戸の教科書 — 往來物と子どもたち —」開催に寄せて

「江戸時代の子どもたちは、

どんなことを学んでいたのか？」

福生市郷土資料室平成十五年度特別展は、江戸時代の子どもたちが寺子屋で教科書として使用していたといわれる「往來物」（おうらいもの）を展示いたします。往來物では、初歩的な読み・書き・そろばんを学習するだけでなく、生活全般にわたる知識・教養・教訓まで身に付くように工夫されています。

往來物の中には、挿絵も多く織り込まれています。そこには生き生きとした江戸時代の人々の生活が描かれています。今ではなくなってしまう品々や風俗・習慣が生きています。

この展示を通して江戸時代の人々が共有した知識・教養に触れ、江戸文化の理解に役立てただければ幸いです。

平成十六年二月吉日

福生市郷土資料室